

令和 8 年 2 月 1 7 日

千葉県健康福祉部児童家庭課

令和 8 年度「それって『愛』なの？ 若者のためのDV予防セミナー」 実施校募集について

千葉県健康福祉部児童家庭課では、令和 8 年度も引き続き、県内の高等学校・大学・特別支援学校高等部等を対象に「それって『愛』なの？若者のためのDV予防セミナー」を実施予定です。ついては、セミナーの実施を希望する高等学校等を募集します。

1 目的

親密な関係の中で起こる暴力は、決して大人の世界に限られた問題ではありません。若年層の中にも、相手と親密な関係ができると、相手を様々な形でコントロールしようとする、いわゆる「デートDV」の存在が注目されています。若者が自分たちの問題として「DVは犯罪となりうる行為を含む人権侵害であること」、「暴力とは何か」、「相手を尊重する関係とは何か」等について考えることは、青少年の健全な育成、さらには将来にわたるDV防止においても大変意味のあることと考えます。

そこで、DV予防教育の一環として、夫婦や恋人等、親しい間柄にある相手の人権を尊重し、互いに尊敬し合える関係について学ぶことを目的に、当セミナーを実施します。

2 実施方法

- 当セミナーは、千葉県健康福祉部児童家庭課で企画し、高等学校等の通常の授業の中で行います。実施校にはセミナーの時間枠を確保していただき、児童家庭課から外部講師（DV被害者支援等を行っている臨床心理士等）を派遣します。
- 講師への報償費（交通費を含む）は、児童家庭課が負担します。

3 実施対象

- 県内の高等学校、特別支援学校、高等専門学校、大学等を対象に、65セミナー程度を予定しています。

4 実施期間

- 実施期間は、令和 8 年 4 月から令和 9 年 3 月まで。

5 実施時間と内容

- 時間枠として 60 分～70 分程度（授業時間 1 コマ分 + α ）を確保していただき、セミナーそのものは、50 分～60 分程度を基本に実施します。なお、120 分程度

(授業時間2コマ分)を確保していただき、セミナーそのものを90分程度実施することもできます。

- セミナーはパワーポイントによる説明の他、生徒によるロールプレイ、簡単なグループワークなど、生徒が参加する形式で行います。
- 50分～60分程度のセミナーは、講演型のセミナーの中にロールプレイ等の参加体験型の要素を取り入れて実施します。なお、120分程度(授業時間2コマ分)を確保できる場合については、ロールプレイに加え、簡単なグループワークなども取り入れて実施することを原則としています。
- 実施規模、実施時間、セミナーの内容等については、希望する高等学校、大学、特別支援学校等の実情や要望に応じながら行うことができます。

6 申込方法

- 受講を希望される場合は、3月13日(金)までに「ちば電子申請サービス」によりお申込ください。

【申込みURL】

https://apply.e-tumo.jp/pref-chiba-u/offer/offerList_detail?tempSeq=56439

【二次元コード】



7 実施校の決定

- 令和8年2月定例千葉県議会において予算が成立しない場合は、本セミナーは実施できないこととなりますことをご了承ください。
- 希望する高等学校等の実施希望日をお聞きし、県議会の予算成立後、3月中に実施校及び実施日を決定し、令和8年4月上旬を目途に決定通知を送付いたします。
(学校で令和8年度の担当者が変わる場合は、3月25日(水)当班までに御連絡ください。)
- 希望する学校が多い場合、または講師の日程と調整がつかない場合は、ご希望に添えないこともありますのでご了承ください。

8 問い合わせ先

健康福祉部児童家庭課 DV対策班

電話：043-223-2376

E-mail:katei9@mz.pref.chiba.lg.jp

令和8年度「それって『愛』なの？若者のためのDV予防セミナー」（概略）

1 セミナーの概要

- 千葉県健康福祉部児童家庭課が企画し、DV被害者支援等を行っている臨床心理士等の外部講師を派遣する。
- DV及び親密な若者間にみられる暴力（いわゆるデートDV）について、講義、生徒によるロールプレイ、グループによる討論など、参加体験型のセミナーを行う。
- 学年単位で実施する方が生徒の理解度が高くなる傾向にある。（生徒が演じるロールプレイ等を行うため、生徒が互いの事を知っている学年単位で実施する方が生徒の興味・関心をひき、終了後の理解度が高くなる。）

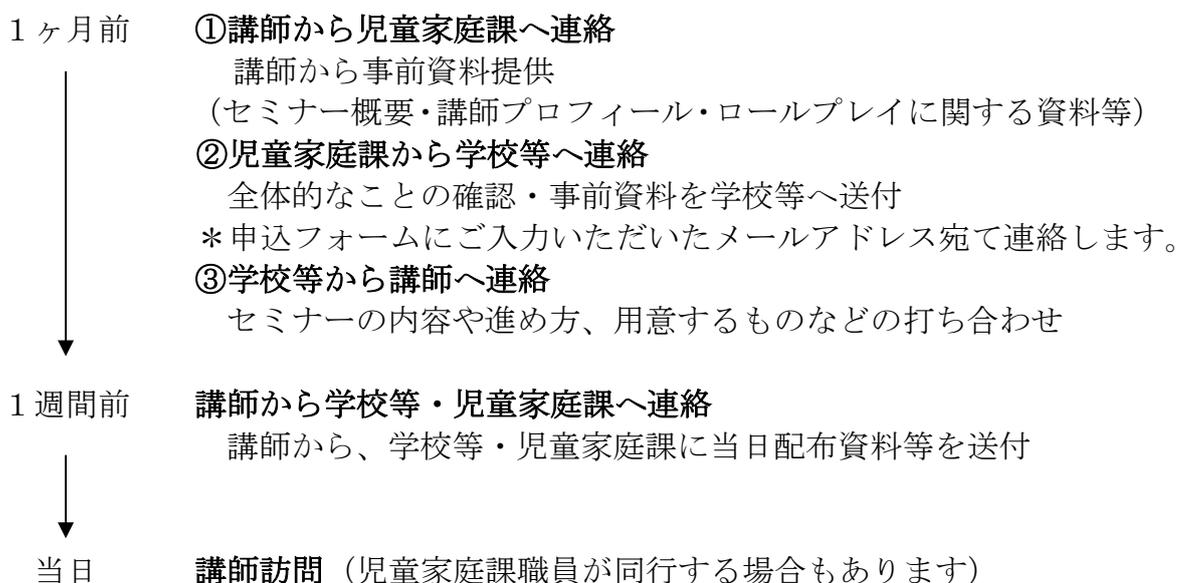
※注意事項

7月下旬に実施した学校で、暑さにより当日開始後にセミナーを急遽中止した例があります。セミナー会場(体育館等)に冷房等が無い学校におかれては、熱中症防止等も考慮した上で実施希望日を設定されることをお勧めします。

2 セミナースケジュール

(1) 実施当日までのスケジュール

※ 児童家庭課と学校等・講師が連絡を取り合って進めます。



(2) セミナー当日の例

① セミナー時間50分程度の場合

スケジュール	内 容
～開始30分前	講師到着【会場・機材等確認】
～開始10分前	生徒・学生が会場（体育館・講堂等）へ移動開始
0分（開始）	(教員からセミナー概要及び講師紹介後)セミナー開始 講師による講義 ～デートDV被害にあった若い女性の映像上映、DV・デートDVの概要、DV相談件数等に関する講義～
20分～	生徒・学生によるロールプレイ ～女子生徒が被害を受ける版(・男子生徒が被害を受ける版) 同状況で被害にならない版～
40分～	講師による講義 ～デートDV加害者・被害者とならない、互いが対等につきあうための考え方等の講義～
50分（終了）	セミナー終了
終了10分後	生徒・学生が教室へ移動完了
終了20分後	生徒・学生が教室で「ちば電子申請サービス」にてアンケート入力 (携帯電話が使用できない等の場合は、紙アンケート記入・回収)

② セミナー時間90分程度の場合

スケジュール	内 容
～開始30分前	講師到着【会場・機材等確認】
～開始10分前	生徒・学生が会場（体育館・講堂等）へ移動開始
0分（開始）	(教員からセミナー概要及び講師紹介後)セミナー開始 講師による講義 ～デートDV被害にあった若い女性の映像上映、DV・デートDVの概要、DV相談件数等に関する講義～
30分～	生徒・学生によるロールプレイ ～女子生徒が被害を受ける版・男子生徒が被害を受ける版～ ～同状況で被害にならない版～
45分～	生徒・学生によるグループワーク ～ロールプレイ内容等に関するグループワーク～
65分	講師による講義 ～デートDV加害者・被害者とならない、互いが対等につきあうための考え方等の講義～
90分（終了）	セミナー終了
終了10分後	生徒・学生が教室へ移動完了
終了20分後	生徒・学生が教室で「ちば電子申請サービス」でアンケート入力 (携帯電話が使用できない等の場合は、紙アンケート記入・回収)